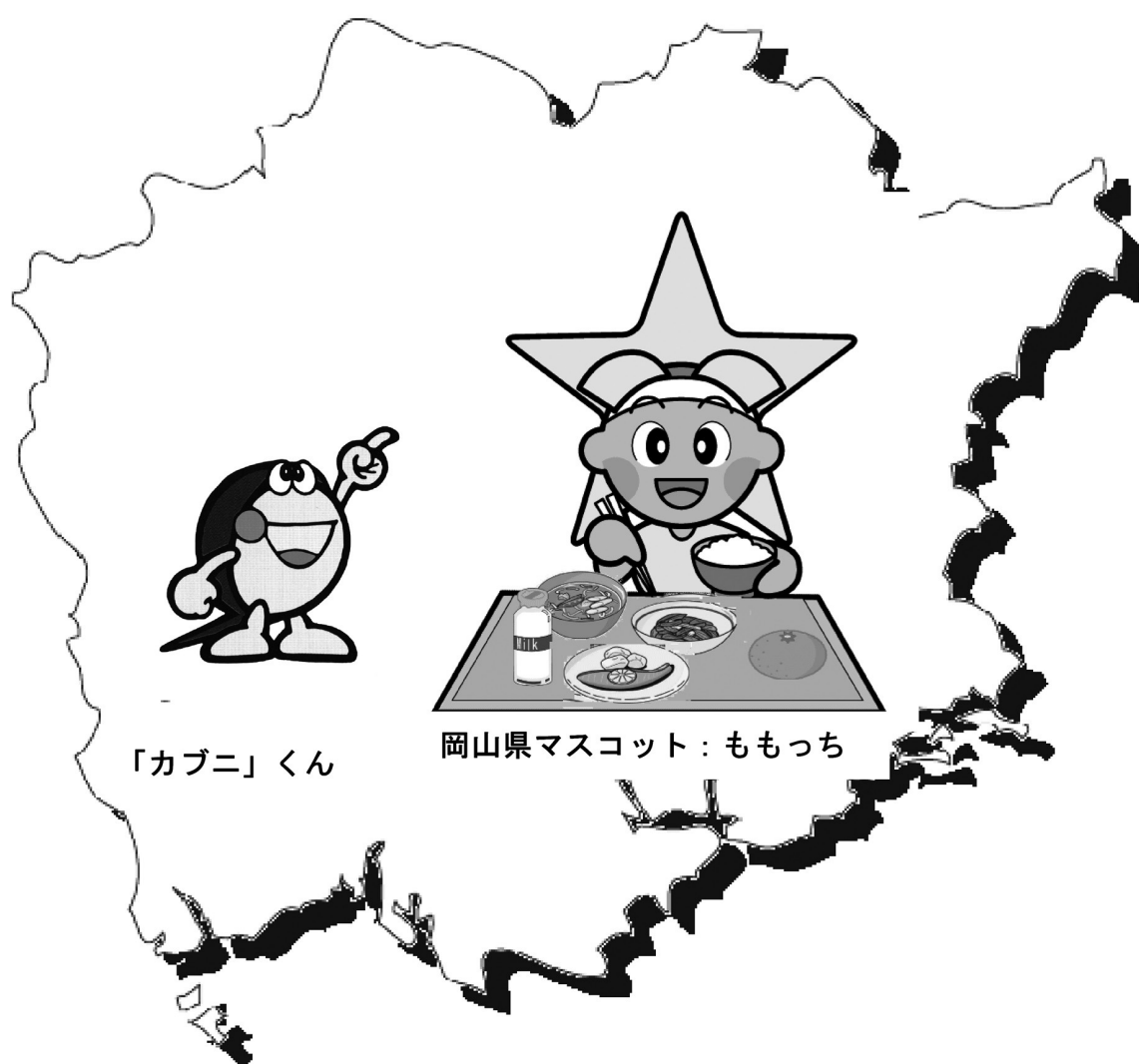


平成 23 年度 文部科学省委託

「栄養教諭を中核とした食育推進事業」

報告書



「カブニ」くん

岡山県マスコット：ももっち

岡山県教育庁保健体育課
笠岡市教育委員会

はじめに

近年、食生活を取り巻く社会環境の変化に伴い、子どもに偏った栄養摂取や不規則な食事などの食生活の乱れや、肥満や過度の痩身などの健康への影響が見られ、望ましい食習慣の形成は喫緊の課題となっております。また、食を通じて地域等を理解することや、失われつつある地域の食文化の継承を図ること、自然の恵みに感謝する心を育てることは食育のねらいでもあります。

こうしたことから、本県では、岡山県教育振興基本計画において、「学校教育活動全体を通じた食育の推進」を重点施策として、栄養教諭の配置促進や学校給食における地場産物の活用割合の向上、朝食を食べる子どもの割合を向上させるなどに取り組んでいるところですが、学校給食を「生きた教材」として活用し、子どもの望ましい食習慣を養うため、栄養教諭が中心となり、学校教育活動全体で食育を推進する体制の整備が課題となっています。

本事業は、栄養教諭の食育推進の取組を支援することによって、児童生徒に効果的な食に関する指導を実施することで、子どもの健康の保持増進をはじめとする食育の一層の充実を図るものです。

実践地域である笠岡市では、食習慣を含めた生活習慣や朝食摂取状況の改善等、課題解決に向け学校・家庭・地域が一体となり取組を進めてこられました。

また、笠岡市立神内小学校での「食に関する指導」研究発表会では、全学級が授業公開され、担任教諭・専科教諭等と栄養教諭それぞれの専門性を生かしての授業実践は、複数の学校を担当する栄養教諭の指導のモデルとなるものです。各学校においては、貴重な実践活動を参考とされ、学校・家庭・地域が一体となった食育の推進に役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、本事業の実施にあたりましては、岡山県立大学保健福祉学部栄養学科准教授川上貴代先生に、データ解析をいただき貴重な資料を御提供いただくとともに、中核となる栄養教諭等に対しまして、的確な御指導・御助言を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

また、笠岡市教育委員会等関係者の皆様におかれましては、本研究に誠心誠意お取組をいただきましたことに感謝申し上げますとともに、今後益々の御発展をお祈りし、ごあいさつとさせていただきます。

平成24年2月

岡山県教育庁保健体育課
課長 藤井 健平

目次

はじめに

I	平成23年度「栄養教諭を中核とした食育推進事業」取組概要説明	1
II	笠岡市における栄養教諭を中核とした食育推進事業の取組	2
	1 笠岡市の概要	
	2 笠岡市の事業取組の趣旨	
	3 取組の具体的内容	
	4 事業の経過	
	5 研究の経過	6
	【テーマ1】各教科・領域等の授業及び学校給食を通じた食に関する指導	
	(1) 笠岡市立神内小学校の研究	
	(2) 食に関する指導の全体計画及び学年別等年間計画（笠岡市立神内小学校作成）	
	(3) 栄養教諭による食に関する指導の学習指導案（笠岡市立神内小学校研究発表会の公開授業）	
	(4) 栄養教諭による朝食に関する指導	
	(5) 地場産の食材を利用した給食献立（「給食だより」より）	
	【テーマ2】食に関する指導を充実させるための学校・家庭の連携	
	(1) 笠岡市立神内小学校における学校・家庭の効果的な連携	
	(2) 笠岡市教育委員会及び笠岡市学校給食センターの取組	
	【テーマ3】食に関する指導を充実させるための学校・地域の連携	
	(1) 笠岡市立神内小学校における地域との連携による取組	
III	生活習慣・食生活アンケート調査について （岡山県立大学川上准教授による）	35
IV	まとめ	48
	(1) 笠岡市立神内小学校（実践中心校）での取組の成果	
	(2) 今後の課題（実践中心校）	
	(3) 事業全体の成果と課題	
	おわりに	50

I 平成23年度「栄養教諭を中核とした食育推進事業」の取組概要説明

1 推進モデル地域名

○笠岡市

2 事業取組の趣旨

近年、我が国の食生活を取り巻く社会環境の変化に伴い、偏食、朝食欠食など、子どもたちの食生活の乱れや肥満傾向の増大など健康への影響が問題となっている。学校教育においても、児童生徒に正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けさせるなど、食に関する指導の充実が喫緊の課題となっている。

このようなことを踏まえ、本県においても学校給食における地場産物の活用の推進や栄養教諭・学校栄養職員の学校給食を活用した食に関する指導を展開しているが、平成23年度は、笠岡市において具体的方策をもって調査研究を進め、県下のモデルとなる取組になるよう計画するものである。

3 事業取組の内容及び計画

【地域連携検討委員会】

推進地域の課題等を把握し事業内容、実施方法について協議と指導を行うための会議を年2回実施する。

<会議の協議内容>

・推進地域における学校園及び関係機関・団体との連携・協力について協議し、円滑な事業実施となるよう支援する。

テーマ	小中学生の食生活を含めた生活リズム向上のための方策の検討
内容・計画	○モデル地区における基本データの収集。 事業実践取組前後のアンケート調査の実施。 ○アンケート調査から問題点を絞り、効果的な指導ができる方策の検討。

岡山県教育委員会（地域連携検討委員会）名簿

	氏 名	所 属	職 名
1	川上 貴代	岡山県立大学保健福祉部栄養学科	准 教 授
2	小寺 稔	笠岡市立神内小学校	校 長
3	山口 享子	笠岡市立中央小学校	栄養教諭
4	竹内 悟子	笠岡市立中央小学校	栄養教諭
5	高橋 伸明	笠岡市教育委員会	統 括
6	河本 仁志	岡山県農林水産部農政企画課対外戦略推進室	室 長
7	塩飽 朱実	岡山県保健福祉部健康推進課	主 幹
8	藤井 健平	岡山県教育庁保健体育課	課 長
9	前田 潔	〃（事務局）	副 課 長
10	谷本智恵子	〃（事務局）	総括参事
11	中桐 規代	〃（事務局）	指導主事